

中学校歴史教科書内容比較（一部要約・大井岳夫作成）

令和2年6月1日現在

※長野県では県内を12地区に分け、地区ごとに採択する教科書を決めています。令和2年度は東京書籍が8地区、帝国書院が4地区で採択されています。

出版社名（全てH27年検定済）	韓国併合・統治	南京事件	戦争名称	アジア民族（独立）運動・戦時中の動員	領土問題（北方領土は各出版社同様の記載のため、あえて触れず）
東京書籍	<p>韓国を併合。韓国は朝鮮と呼ばれるようになり…強い権限を持つ朝鮮総督府を設置して、武力で民衆の抵抗を抑え、植民地政策を推し進めた。学校では朝鮮の文化や歴史を教えることを厳しく制限し、日本史や日本語を教え、日本人に同化させる教育を行った。</p>	<p>日本軍は南京を占領し、その過程で女性や子どもなど、一般の人々を含む多数の中国人を殺害した。（欄外の脚注：この事件は南京大虐殺とも呼ばれる。被害者の数については、様々な調査や研究が行われているが、いまだに確定していない）</p>	<p>太平洋戦争以外は、特別な記載無し</p>	<p>多数の朝鮮人や中国人が、意思に反して日本に連れてこられ、鉱山や工場などで劣悪な条件下で労働を強いられた。こうした動員は女性にも及び、戦地で働かされた人たちもいた。（…中略）東南アジアにおいても、日本軍は労働を強制したり、物資を取り上げたりした。また、日本語教育などを押し付けた。そのため、現地の住民の日本に対する期待は徐々に失われ、各地で抵抗運動が発生した。日本軍は、抗日的と見なした人々を厳しく弾圧し、多くの犠牲者が出た。</p>	<p>竹島…韓国による不法占拠続く、島根県は返還を求める運動を続けており、日本政府も外交努力を行っている。尖閣諸島…1970年代に入り、中国や台湾が領有権を主張し始める。しかし、現在も日本が実効支配し、広く国際社会から日本の領土として認められている。</p>
帝国書院	<p>韓国を併合し、植民地とした。韓国を朝鮮と改め、軍人の朝鮮総督を置いて支配し…朝鮮では、近代化が進められ鉄道などが整備される一方、学校で日本語や日本の歴史・地理が教えられ、朝鮮の文化や歴史を教える機会は減らされた。</p>	<p>南京では兵士だけでなく多くの民間人が殺害された。（欄外の脚注：死者数をふくめた全体像については、調査や研究が続いている）</p>	<p>太平洋戦争（欄外の脚注：太平洋戦争はアメリカ側が用いた呼び方で、近年はアジアも戦場であったことから、アジア・太平洋戦争とも呼ばれている。戦争中、日本はこの戦争のことを「大東亜戦争」と呼んでいた。）</p>	<p>「大東亜共栄圏」建設へのアジアの期待があった。戦争によって日本国内の労働力が不足すると、日本は企業などで半ば強引に割り当てを決めて朝鮮人や中国人を集め、日本各地の炭坑、鉱山などにつれて行き、低い賃金で厳しい仕事に就かされた。</p>	<p>竹島…韓国が不法占拠。日本は抗議し、国際司法最右番所への行動提訴を呼び掛けているが、韓国は応じていない。尖閣諸島…1971年から中国が領有権を主張するようになったが、尖閣諸島は日本固有の領土であり、国際的にも認められている。</p>

出版社名（全てH27年検定済）	韓国併合・統治	南京事件	戦争名称	アジア民族（独立）運動・戦時中の動員	領土問題（北方領土は各出版社同様の記載のため、あえて触れず）
育鵬社	<p>韓国併合に踏み切り、その統治のために朝鮮総督府を置いた。わが国の朝鮮統治では、併合の一環として近代化が進められたが、米の作づけが強いられ、日本語教育など同化政策が行われたので、朝鮮の人々の日本への反感は高まった。</p>	<p>南京を占領した際、日本軍によって、中国の軍民に多数の死傷者が出た。この事件の犠牲者数などの実態についてはさまざまな見解があり、今日でも論争が続いている。</p>	<p>この戦争を「自存自衛」の戦争としたうえで、大東亜戦争と名づけた。（戦後はGHQが大東亜戦争の名称を禁止したので、太平洋戦争という名称が一般化した）</p>	<p>東南アジア唯一の独立国であったタイは、日米開戦直後に日本と同盟を結び、米英両国に宣戦布告。イギリス軍として戦ったインド兵の多くは、捕虜となった後、インド国民軍に加わり、独立を目指して日本軍と行動をとにした。ビルマでは独立義勇軍ができ、日本軍に協力した。インドネシアでも義勇軍ができ、日本軍の指導で軍事訓練が行われた。1943年、東京で大東亜会議が開かれる。中国（南京政府）、タイ、満州国、フィリピン、ビルマ、インドの代表者が集まり、これらの地域を米英の支配から解放することなどをうたった大東亜宣言が採択された。</p> <p>戦争の末期には、朝鮮や台湾にも徴兵や徴用が適用され、人々に苦しみを強いることになった。日本の鉱山や工場などに徴用され、きびしい労働を強いられる朝鮮人や中国人もいた。</p>	<p>わが国固有の領土である竹島は、韓国に不法占拠されたままである。わが国が統治している尖閣諸島の周辺海域には中国の監視船が侵入するなど、領土が脅かされている。中国をめぐっては軍事力の増強がアジア諸国の脅威になっている。</p>
自由社	<p>日本は武力を背景に韓国内の反対をおさえ、併合を断行した。併合後におかれた朝鮮総督府は、植民地政策の一環として、朝鮮の鉄道・灌漑施設をつくるなどの開発を行い、土地調査を実施した。また、学校も開設し、日本語教育とともに、ハンゲル文字を導入した教育を行った。</p>	<p>特別な記載なし</p>	<p>育鵬社同様</p>	<p>親日国であったタイに加えて、日本軍の捕虜となったイギリス軍のインド人兵士を中心としてインド国民軍が結成され、インドネシアやビルマでも、日本軍の指導で軍隊がつけられた。この軍組織が、のちに建国の中核となった。（大東亜会議については育鵬社同様）日本はアジアの開放を名目に掲げたが、戦場となった中国や東南アジア地域の人々には大きな損害を与えることになった。戦争末期には朝鮮・台湾の人々にも徴兵や徴用が適用され、また日本の鉱山などで過酷な条件で働かされ多くの犠牲者が出た。</p>	<p>竹島は日本固有の領土であるが、韓国は自国領と主張し、武装警官を常駐させて不当な占拠を続けている。中国は急速な軍備拡張を進め、チベットやウイグルなどの支配を強め、周辺海域や海洋への進出を強化している。また、尖閣諸島の領有権を主張し、頻りに漁船、公船、航空機を日本の領海・領空に侵入させているが、日本は「尖閣は日本固有の領土であり、領土問題は存在しない」との立場をとっている。</p>